

令和7年度第1回兵庫県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 開催概要

1 開催日時 令和7年7月25日（金）10：00～12：00

2 開催場所 兵庫職業能力開発促進センター 研修室5

3 主な議題

- (1) 令和6年度業務実績について
- (2) 施設部会の開催報告
- (3) その他

4 議事経過

主な意見は以下のとおり。

(訓練全体について)

- 応募者が少ないコースは、そもそも対象者に訓練の情報が届いていない可能性や情報が届いていたとしてもメリットが認知されていない、自分には関係ないと認識されている可能性があるため、広報を行う際には、対象者の属性を明確にした上で、その対象者にどのような情報を伝えるべきかを十分に検討していただきたい。

(離職者訓練について)

- 技術を身につけることも訓練の目的ではあるが、求職者の方は、その先の就職や、身につけた技術が実際の職場でどのように活かせるかが気になると思われるため、求職者の方が自分のキャリアに具体的なイメージが持てるような情報を分かりやすく伝えていただきたい。
- 就職率の高さは、求職者に対するアピールポイントの一つであるが、人手不足の状況を考慮すると、それだけでは不十分と思われる。例えば受講者アンケート、満足度調査等の結果や、「就職後に役に立ったこと」、「希望した労働条件の企業に就職できた」等の訓練受講者からの情報やコメントをアピールすることで、ハローワークの担当者がより求職者の方へ訓練受講を薦めやすくなるため、検討いただきたい。
- 訓練を受講し、スキルを身につけてから就職することで、仕事理解がスムーズにできるようになるなどのメリットがあるため、引き続き関係機関と協力し、離職者訓練をアピールしていただきたい。

(在職者訓練・生産性向上支援訓練について)

- 在職者訓練でオーダーメイドコースを実施しているが、「何でも対応可能」と言われると、企業側は具体的に何を依頼すればよいか分からず躊躇してしまうため、訓練を利用することのメリットを、短い時間で分かりやすく伝える工夫をしていただきたい。
- コース数が多いため、条件に合致するコースを探すのに手間がかかる。例えばオンライン上で自社の条件を入力すると、候補のコースが提示されるような仕組みがあると、利便性向上に繋がるため、検討いただきたい。

(求職者支援訓練について)

- 実施機関における模範的なロールモデルを設定し、その情報を民間教育訓練機関へ示していくことで、企業が訓練の担い手となることへの動機づけになる可能性があるため、検討いただきたい。

(その他)

- ポリテクセンターは、様々な雇用支援の取組を通じて地域に貢献しており、ポリテクセンターが尼崎市に設置されていることに自治体としても非常に感謝している。今後も一緒に盛り上げていきたいと考えているため、求職者の方にポリテクセンターをより活用していただけるような連携のあり方を検討していきたいので、ご協力いただきたい。

令和7年度第1回兵庫県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	山下 紗矢佳 (会長)	武庫川女子大学 経営学部 准教授
	大岡 豊	公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会 会長
	西井 由比子	株式会社神戸新聞社 論説委員兼編集局経済部記者
労働者代表 (2名)	森田 直樹	日本労働組合総連合会兵庫県連合会 副事務局長
	吉田 浩一	日本労働組合総連合会兵庫県連合会 東部地域協議会 事務局長
中小企業等代表 (5名)	長尾 泰明	兵庫県経営者協会 常務理事・事務局長
	小林 和弘	兵庫県商工会議所連合会 神戸商工会議所 会員事業部長
	谷口 幸史	兵庫県中小企業団体中央会 専務理事
	今井 良広	兵庫県商工会連合会 専務理事
	川井 諭	公益社団法人兵庫工業会 常務理事 事務局長
行政機関 (3名)	内藤 彰彦	兵庫労働局 職業安定部長
	田口 修由	兵庫県産業労働部 能力開発課長
	澁谷 理恵	尼崎市経済環境局経済部 しごと支援課長

(敬称略)